

対象国の条件 : 環境悪化が深刻な流域（湖沼・河川・沿岸域等）を自国内に有している国

研修コース番号 : 201984740-J002

案件番号 : 201984740

主分野課題 : 自然環境保全/生物多様性保全

副分野課題 : 環境管理/水質汚濁

使用言語 : 英語

案件概要

河川や湖沼、沿岸域等の多くのステークホルダーが関係する流域管理では、組織体制、政策、参加、技術対応、情報、財源の6課題分野を統合して一体的に水資源の持続可能な利用と保全を進めることが重要である。
 本研修は統合的湖沼流域管理（ILBM）を出発点に、湖沼、河川、沿岸域を含む「静水・流水システム（Lentic-Lotic System）」の適切な管理のあり方について、研修員の理解を強化することを目的とする。

目標／成果	対象組織／人材
<p>【案件目標】 参加する技術系行政官、政策決定者、研究者が本邦研修で習得した知識や技術を活用することにより、自国の湖沼流域管理の適正なアクションプランの実施に寄与すること。</p> <p>【成果】 1. 研修員が出身国で管理を担当する水域について予備的なレポート作成、アンケート回答を行う。 2. 研修員の所属する機関が抱えている困難さや挑戦を共有し、当研修で学ぶべきことを確認する。 3. 研修員は管理を担当する水資源の価値とその利用について説明できる。 4. 一般のおよび研修員各国における流域管理分野でのガバナンスの課題について説明できる。 5. ILBMの概念を応用し、研修員の所属する組織が直面している課題を解くためのアクションプランの草案を提案できる。 6. 日本で作成されたアクションプランの草案が研修員所属組織において共有され、検討される。</p>	<p>【対象組織】 中央政府及び地方政府の河川・湖沼・沿岸域等の流域保全関係組織</p> <p>【対象人材】 <職位> 河川・湖沼・沿岸域等の流域管理に関わる開発途上国の中央及び地方行政官等</p> <p><職務経験> 実務経験3年以上</p> <p><その他> 英語の会話力、読解力が十分にある者</p>

内 容	本邦研修期間	2019/8/18～2019/10/18
<p>【事前活動】 カントリーレポートの作成、発表、討論</p>		
<p>【本邦研修】 1. 以下のテーマに沿った講義及び視察 (1) 管理担当水域の状態に関する情報の共有 (2) 生物物理的な特性 (3) 人間による水域の利用状況</p> <p>2. ILBM（統合的湖沼流域管理）の以下6つの柱に基づく講義及び視察 (1) 管理・研究機関 (2) 政策（規制および経済的手法） (3) 住民の参加 (4) 技術的な対応 (5) 情報 (6) 財源</p>	<p>担当課題部</p>	<p>地球環境部</p>
	<p>所管国内機関</p>	<p>JICA関西（業務一）</p>
	<p>関係省庁</p>	<p>環境省</p>
	<p>実施年度</p>	<p>2019～2021</p>

<p>主要協力機関</p>	<p>調整中</p>
<p>特記事項及びホームページ</p>	<p>公益財団法人国際湖沼環境委員会ホームページ https://www.ilec.or.jp/jp/</p>